第 2014-13 号

恵みと真理のニュース

2014 年 3 月の五次　恵みと真理教会
韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養 5 洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net

［証］　私を正しい信仰の道で導いてくださり 家庭が福音化になるように導いてくださった神様の恵みを賛美します。

私は子供の頃からカトリックでした。洗礼と堅信礼を受け熱心に活動しながら学生時間を過ごしました。結婚して姑の密かに旦那と共に結婚の礼拝も受けました。姑は自分か生きる間は絶対に教会に行くのは駄目だと反対することと、性格が堅くな姑と旦那の兄弟たちと共に一つの家で住むのが私には精神的に肉体的にとても大変でした。頼るところがないまま毎日が不安で希望がない生活をする中で薬局を経営していた恵みと真理教会の区域長を知るようになりました。区域長はいつも机の上に聖書を開いて暇ができ次第聖書を読み賛美を歌ったり、いつも笑顔で明るい姿で生活していました。その姿と福音を伝える熱情に感動を受けて私も区域長をついて教会へ通うにことになりました。長い間カトリックの信仰の中で過ごした私には教会の礼拝はとても慣れなかったです。しかし、礼拝の時間に聖徒達が熱く祈り賛美することは真に感動的でした。何より、当会長の牧師の説教を聴き恵まれ真理を知っていくのが喜びでした。外的な清いと生命力がないメセージと今まで信じた神様はただ天の上に私と離れている神様でした。しかし、今は新しく信じるようになって神様は創造主で救い主でありいつも私の中で共におられ、おしゃってくださり今日も働いている神様でした。日々イエスキリストによって恵みと真理で満たされながら多くの部分で聖書と違う教理を教えて従う人々を哀れんでくださり正しい道で導いてくださる神様に感謝を捧げます。初めて“／目の見えない人に視力の回復を告げ、／圧迫されている人を自由にし、”主の中で幸せな生活をする中で私が密かに教会に通うのを姑と旦那が知るようになって家庭が大騒ぎになりました。その時から姑と旦那の様々な迫害がありました。さらに旦那は威かしながら神様を信じる信仰をやめることを要求しました。

. “愛する人たち、あなたがたを試みるために身にふりかかる火のような試練を、何か思いがけないことが生じたかのように、驚き怪しんではなりません。 むしろ、キリストの苦しみにあずかればあずかるほど喜びなさい。それは、キリストの栄光が現れるときにも、喜びに満ちあふれるためです。”（ペテロの手紙一４：１２，１３）

“そればかりでなく、苦難をも誇りとします。わたしたちは知っているのです。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生むということを。”（ロマの信徒への手紙　５：３，４）

神様の御言葉を黙想しながら祈って慰めと力を得、大胆に家族に“私は最後まで神様を信じ捧げます”と宣言しました。離婚の話まで出た状況で姑は信仰生活はやっと許しました。

その後も様々なことで私を迫害する姑を憎みました。姑と旦那のため祈りましたが真の愛の心で祈をするより私の自由な信仰生活のため祈って終わりました。神様を信じ神様を愛すると言いながら姑と旦那を憎む心を持っているのがもっと辛くして心を痛ませました。迫害する家族、特に姑を真で愛するように私にも愛の賜物をくださるのを切に祈りました。祈りの中で聖霊で満たされました。神様は私の心に主の愛が溢れるように十字架の愛を与えてくださいました。その時から世を見る視線が変わり、主の哀れみと愛の心で家族のため真実に祈るようになりました。神様の時になると、家庭が福音化されることを信じて忍耐しながら休まずに祈りました。それで、大胆に福音を伝えました。姑はひたすら長男しか知らないのに、ある日は新婚生活をしている旦那の弟の家で住むと言われ、急にソウルに行きました。私はもっと熱心に主を捧げると神様が環境を開いてくださった思って主のことを熱心しました。

限りない喜びと感謝の心で区域長の職分も受けました旦那が読む聖書もあらかじめ買っておいてその聖書に旦那の写真を貼って旦那が救われるためもっと積極的に祈りました。

“信仰とは、望んでいる事柄を確信し、見えない事実を確認することです。”（ヘブライ人への手紙　１１：１）という御言葉を思いながら旦那が教会に行く姿、真実に礼拝を捧げる姿、声を上げて祈り賛美する姿を想像しながら祈りました。

また、旦那の事業が日々繁盛するように神様の助けを求めながら祈りました。お金の欲ではなく事業がもしかして不渡りすると神様を信じない姑と兄弟達がその原因がイエス様を信じている私のせいだと言い主の栄光を防ぐのではないか心配になったからです。

そんな私の心を知った神様は旦那の事業が繁盛するように福を与えてくださいました。事業がよくなり神様の恵みを知らない旦那が物質で惑わして私を倒させるようにしましたが私は揺れませんでした。

ある日、私の顔ににきびのようなできものができて旦那は私を“ほや”と呼んでおちゃらかしながら“教会に行って祈らない？”と言いました。私は心で“どう神様ににきびが治るようにそんな祈りをするか”と思いました。

一方、私の歳が 40 歳になったので単純なにきびではなく皮膚病ではないかと思いつきました。病院に行ったらさすがに炎症が慢性になってすぐは治らない皮膚病だと言われました。礼拝を捧げながら“神癒の祝福祈りをする時ことに顔に手を置いて祈り、家にいる時、化粧をする時も熱心に祈って治される驚くな神様の恵みを体験しました。

旦那の兄弟達の結婚のことで忙しい中で長男の風邪の治療を疎かにして症状が悪化されあちこち病院に通っても治らなかった子供の蓄膿症も礼拝時間に当会長の牧師の神癒の祈りを受けて完全に治りました。

神様は私の切ない祈りの課題のことに神様の時になり全部答えてくださいました。旦那の妹の夫婦が先にイエス様を受け入れ、その後、ついに旦那も教会に出席するようになりました。まだ奉仕し献身する信仰ではないが熱心に主日礼拝に参席して私が教会に内外で職分を受けよく担えるように配慮してくれました。姑も体が不便でも区域礼拝へ参加してすきまことに膝をまずいで祈る姿を見ると胸が熱くなり神様に限りない感謝と賛美を捧げます。

“事実、あなたがたは、恵みにより、信仰によって救われました。このことは、自らの力によるのではなく、神の賜物です。行いによるのではありません。それは、だれも誇ることがないためなのです。”（エヘェソの信徒への手紙２：８，９）ハレルヤ！

言葉では表現できない神様の恵みと愛を毎日賛美します。死んでも主の栄光ため、生きても主の栄光のため生きいつも主と共に生き感謝と喜びの中でいることを願います。主が来る日まで心と力を尽くして主を愛し献身することを決心します。

［信仰コラム］　決して捨てない

″…彼が自らおっしゃるには自分が果たしてあなたを捨てず、果たして君たちを離れないとしました″(ヘブライ書13:5)

人生は平坦な道よりも険しい道がもっと多いです。誰にも苦難にあって心配しながら悲しみと苦痛することがあるものです。だから、本文は私たちがいつも読んで黙想しなければならないことです。彼だけでなく、ビジョンを持って積極的に黙想しなければならないことです。

ヤコブの兄に避けて逃避の途につきました。叔父が住んでいる Paddam Aram に向かって遠い道を行く途中に、神様がヤコブの夢の中に現れて“私はあなたとともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない”(創世記 28:15)は約束の話をしてくれました。

ヤコブは無事に叔父の家に至りました。そして叔父ラバンが彼を一生作男で使おうと決意して労賃を 10 回も巧みに変えたが、結局大金持ちになりました。

神様がラバンの夢でヤコブを害しないとして彼の心を改めてくれました。そして彼を殺そうとした兄の心まで変化させてくださいました。

ヨセフの生涯は苦難の道ですが、神様が離れずにいつも一緒にやってくれたら困難も有益になり、ついに最後の勝利と栄光を得ることになりました。

神様がモーセを呼んでイスラエルの子孫をバロウの手から救い出してカナンへと導くという使命をいただく際、彼に″私が本当にあなたと一緒にいる″(出エジプト記 3:12)と言いました。モーセは、イスラエル民をバロウの支配から解放させてエジプトで引き出しました。

″私がモーセと一緒にいたように君と一緒にいるだろう、私が君を離れない、捨てないんだろう。心を強くすること大胆にしなさい″(Jehoshua 書 1:5、6)は神様の言葉を受けたモーセの後継者、ヨシュアはイスラエルの子孫をカナンの地に引き渡し、その土地を征服し、民に生活の基盤を備えてくれました。

神様がヤコブやモーセやヨシュアに言った言葉は、神様の選んだことは私たちにも同一に適用されます。

神様が聖徒に決して捨てないで、離れないってことを我々が確信できる根拠があります。神様は誠実れるからです。

神様の意を妨害できる者がいないからです。神様が私たちを救うことために犠牲を払ったからです。神様が私たちを拘束するために、御子をくださったし、イエスは私たちのために命まで捨てました。

″わたしが果たしてあなたを捨てず、果たして君を離れないだろう″した神様の言葉を確信したら、次のような態度で暮らすようになります。恐れを克服して大胆な姿勢で生きようとになります。

転んだことがあっても再び起きることになります。神様がくれるビジョンを持つようになります。欲と貪心を退けて満足を感じながら生きようになります。楽しい気持ちで暮らすようになります。

神様を畏敬して意志しながら愛する者を捨てないて離れないです。そして必ず今の苦難よりもっと大きな栄華をきわめるようにしてくれます。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム‘緑の牧場、清い川’本の語り中」

永遠に等しいキリスト

恵みと真理教会 **チョヨンモク** 牧師

しばしば変わって信じられない人を相対すれば大変で心細いです．一方に相変わらずの人を相対するようになれば安心で楽しいです．**“イエス・キリストは、きのうも、きょうも、いつまでも変ることがない。（ヘブル人への手紙１３：８）”**．この言葉は私たち心に安堵感が一杯にさせてくれます．**ヤコブの手紙 1 章 17 節に “あらゆる良い贈り物、あらゆる完全な賜物は、上から、光の父から下って来る。父には、変化とか回転の影とかいうものはない。”** と言いました．イエス様の弟子ピリポがイエス様に言うのを “神様，私どもに父を見せてくださいそんなにすれば私どもが満足します．” しました．イエスキリストが彼に答えるのを **“ピリポはイエスに言った、「主よ、わたしたちに父を示して下さい。そうして下されば、わたしたちは満足します」。イエスは彼に言われた、「ピリポよ、こんなに長くあなたがたと一緒にいるのに、わたしがわかっていないのか。わたしを見た者は、父を見たのである。どうして、わたしたちに父を示してほしいと、言うのか。わたしが父におり、父がわたしにおられることをあなたは信じないのか。わたしがあなたがたに話している言葉は、自分から話しているのではない。父がわたしのうちにおられて、みわざをなさっているのである。”（ヨハネによる福音書 14:8～10）** しました．そうするので “イエスキリストは昨日や今日や永遠に等しい” という言葉は “神様は昨日や今日や永遠に等しい” という言葉に違いないです．このような知識と信仰で今日の言葉をよく見ます．

第一、神様の愛は永遠に等しいです．

聖書の創世記にこんなに記録されています．**“神は自分のかたちに人を創造された。すなわち、神のかたちに創造し、男と女とに創造された。神は彼らを祝福して言われた、「生めよ、ふえよ、地に満ちよ、地を従わせよ。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ」。神はまた言われた、「わたしは全地のおもてにある種をもつすべての草と、種のある実を結ぶすべての木とをあなたがたに与える。これはあなたがたの食物となるであろう。”（創世記 1:27～29）**．神様が人の生存に必要なすべてのものを作った後に人を作ってそのすべてのものを享受しながら暮すようにしました．だからこのすべてのものなどと季節の変化と日夜の変化までも人生を向けた神様の愛を現わしています．
人が経験する一番驚くべきで大きい愛は罪人を救いしようと彼のイエスキリストをくださった神様の愛です．他に言えば世の中へいらっしゃって罪人の罪をあがないしたイエス様の愛です．これをキリストイエスの中に現われた神様の愛だと呼ぶのが適切です．ヨハネの第一の手紙 4 章に記録されるのを **“神はそのひとり子を世につかわし、彼によってわたしたちを生きるようにして下さった。それによって、わたしたちに対する神の愛が明らかにされたのである。わたしたちが神を愛したのではなく、神がわたしたちを愛して下さって、わたしたちの罪のためにあがないの供え物として、御子をおつかわしになった。ここに愛がある。”（ヨハネの第一の手紙 4:9,10）** しました．“和睦祭” には犠牲お供えがなければなりません．旧約の時代には羊やヤギや子牛が犠牲お供えで使われました．しかしそういうお供えは完全で永遠な犠牲お供えに対する模型で影でした．神様が予備なさった完全で永遠な和睦お供えは神様であるイエスキリストです．
イエスキリストは和睦お供えだ前に贖いお供えになって罪人のすべての罪をあがないました．そして和睦祭になって神様の敵だった者等を神様と睦まじいようにしたのです．人間の理解を超越する驚くべきな愛です．誰でもイエスキリストの中に現われた神様の愛を感激された心で受け入れるだけで救いを得るようになります．キリストによる神様の愛は昨日や今日や永遠に等しいです．

第二、神様の恵みは永遠に等しいです．

聖書の用語の中で恵みというものがなければ福音という言葉もないだろう．救いの福音は恵みでよるからです．そして福音を “恵みの福音” と言います．使徒パウロは **“しかし、わたしは自分の行程を走り終え、主イエスから賜わった、神のめぐみの福音をあかしする任務を果し得さえしたら、このいのちは自分にとって、少しも惜しいとは思わない。”（使徒行伝 20:24）** で言いました．“神様の恵み” という言葉と “イエスキリストの恵み” という言葉は同じ意味で使われる言葉です．**ローマ人への手紙 5 章 15 節には “しかし、恵みの賜物は罪過の場合とは異なっている。すなわち、もしひとりの罪過のために多くの人が死んだとすれば、まして、神の恵みと、ひとりの人イエス・キリストの恵みによる賜物とは、さらに豊かに多くの人々に満ちあふれたはずではないか。”** しました．人が必ず分からなければならないし経験しなければならないことはイエスキリストの恵みです．神様の恵みを示して **テトスへの手紙 2 章 11 節には “すべての人を救う神の恵みが現れた。”** と言いました．
救いの内容の中の核心的なものなどはこのようです．罪の赦しを受けて義のあるようになります．神様の子になります．神神しくなって聖徒だと呼ばれるようになります．天国で住むようになります．復活した身を持つようになります．このように貴重なものなどを私たちが恵みで受けることができるようになったわけが**ローマ人への手紙 3 章 24 節に説明されました．“彼らは、価なしに、神の恵みにより、キリスト・イエスによるあがないによって義とされるのである。”** と言いました．**エペソ人への手紙 2 章 8 節と 9 節に “あなたがたの救われたのは、実に、恵みにより、信仰によるのである。それは、あなたがた自身から出たものではなく、神の賜物である。決して行いによるのではない。それは、だれも誇ることがないためなのである。”** と言いました．キリストの中で現われた神様の恵みは永遠に等しいです．歳月が経っても変わらないです．その誰もその何でもキリストの中にある神様の恵みを変わる事ができないです．イエスキリストのばかり得るようになる救いの恵みは永遠です．

第三、神様の真実さは永遠に等しいです．

詩編 33 編 4 節に記録されるのを **“主のみことばは直く、そのすべてのみわざは真実だからである。”** しました．詩編 117 編 2 節には **“われらに賜わるそのいつくしみは大きいからである。主のまことはとこしえに絶えることがない。主をほめたたえよ。”** しました．神様の真実さは予言者を通じて予言なさった言葉の成就を通じて明かに証拠されました．イスラエルに対する予言とイスラエルと係わる国々に関する予言が正確に成り立ちました．神様がアブラハムにおっしゃるのを **“時に主はアブラムに言われた、「あなたはよく心にとめておきなさい。あなたの子孫は他の国に旅びととなって、その人々に仕え、その人々は彼らを四百年の間、悩ますでしょう。しかし、わたしは彼らが仕えたその国民をさばきます。その後かれらは多くの財産を携えて出て来るでしょう。”（創世記 15:13,14）** しました．この言葉はそのまま成り立ちました．一番驚くべきで感動的な予言は救世主に対した事です．これは聖書の予言の核心です．
イエスキリストの誕生，生涯，死，復活，昇天が予言されたそのまま成り立ちました．案外に急にできた事は一つもないです．コリント人への第一の手紙 15 章に記録されるのを **“兄弟たちよ。わたしが以前あなたがたに伝えた福音、あなたがたが受けいれ、それによって立ってきたあの福音を、思い起してもらいたい。もしあなたがたが、いたずらに信じないで、わたしの宣べ伝えたとおりの言葉を固く守っておれば、この福音によって救われるのである。わたしが最も大事なこととしてあなたがたに伝えたのは、わたし自身も受けたことであった。すなわちキリストが、聖書に書いてあるとおり、わたしたちの罪のために死んだこと、そして葬られたこと、聖書に書いてあるとおり、三日目によみがえったこと、”（コリント人への第一の手紙 15:1～4）** しました．
神様は真実です．神様には偽りがないです．だから神様の言葉を無視して不信すれば必ずみじめになって不幸になります．ノア時代人々は神様がノアを通じてくださった警告のメッセージを無視してあざ笑いました．その結果洪水の審判で滅亡されました．ロッは神様の警告を彼の壻たちに伝えたが彼らは冗談で扱いました．結局彼らは硫黄の火で滅亡されました．天使たちがロッとロッの妻と二人の娘を城の外に導き出しました．そして警告しました．“逃げなさい後を見回らなさい．” ロッの妻はその警告を無視して後を見回っている途中に塩の柱になってしまいました．神様はイスラエル民たちにガナアンをくださることを約束しました．ところでガナアンを探った十人の忍者は神様の口約束を無視して民たちの力を落としさせる探り報告をした結果で神様の懲罰を受けてたまらなかったです．また民たちは神様の約束を無視してエジプトに帰ろうと出てから広野で死にました

イエス様の再臨，聖徒たちの復活と携擧，千年の王國，新しいエルサレムに対した約束も間違いなくそのまますべて成り立つでしょう．神様の真実さは昨日や今日や永遠に等しいです．これを固く信じる聖徒は自分が直面した都合と問題より神様が約束した言葉に対する自分の態度をもっと重要に思います．
イエスキリストにあって現われた神様の愛は永遠に等しいです．イエスキリストの中に現われた神様の恵みは永遠に等しいです．イエスキリストの中に現われた神様の真実さは永遠に等しいです．聖徒の皆さんはこのような知識と信仰を固く持ってください．そしてこのような信仰を行うことで現わしながら生きて行ってください．